

指定管理施設事業評価票(令和6年度分)

1. 施設所管課 観光経済 部 栗山観光 課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」				
	所在地	日光市川俣740番地				
指定管理者	名称	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合				
	代表者名	組合長 山本 寛				
	住所	日光市川俣740番地				
指定期間		令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日			5 年間	
選定方法		非公募	評価実施年	5 年間のうち 4 年目		
施設設置目的		市民の保養と健康の増進を図り、かつ、観光事業の振興を図る。				
主な実施事業		共同浴場				

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	利用者数	人	5,250	2,478	5,250	3,459	5,250	3,354	5,250	2,960		
b												
c												
d												
e												

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計 A		2,105,562	2,616,972	2,507,048	2,353,794	0
	指定管理料	496,000	128,055	78,136	0	
	利用料収入 C	1,483,100	2,091,900	2,085,300	1,786,650	
	自主事業収入	45,085	80,432	89,393	74,886	
	その他	81,377	316,585	254,219	492,258	
支出計 B		2,105,562	2,616,972	2,507,048	2,353,794	0
	指定事業費	2,014,531	2,616,972	2,507,048	2,278,908	
	内人件費 D	112,000	141,400	185,200	159,200	
	内外部委託費 E		60,500	60,500	60,500	
	自主事業費	91,031			74,886	
事業収支 A-B		0	0	0	0	0
人件費率 D/B		5.32%	5.40%	7.39%	6.76%	#DIV/0!
外部委託比率 E/B		0.00%	2.31%	2.41%	2.57%	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価	
① サービスの 履行の 確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B	
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B	
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B	
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B	
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B	
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B	
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B	
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B	
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B	
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B	
② サービスの 質の評価	施設管理	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B	
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B	
	利用者対応	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。	B	B	
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B	B	
	事業運営	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B	
		緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。	B	B	
	維持管理	避難経路が適切に確保されている。	B	B	
		「業務の実施体制」に関する評価【17項目】	B	B	
	③ 安定性	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
			事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B	B
利用者対応		利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B	
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	B	
事業運営		言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B	
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B	
維持管理		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B	
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B	
所見 (成果・課題等)	環境配慮	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	B	
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B	
	広報活動	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B	
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B	
	苦情等対応	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B	
		事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B	
	利用者アンケート	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B	
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B	
	総括	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B	
		利用実績は、目標水準である。	C	B	
前年度総合評価	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B	
		経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	経費削減	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B	
		経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B	
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B	
		「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B	
	総合評価	B(良好)			B(良好)

※評価区分

評価基準	A（優良）	=	協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B（良好）	=	協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C（要改善）	=	一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。			
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。			
総括評価	A（優良）	=	評価項目のうち、A判定が80%以上
	B（良好）	=	A、C 以外
	C（要改善）	=	評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A（優良）	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B（良好）	=	A、C 以外
	C（要改善）	=	自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。